

## 二学期制アンケート結果（報告）

### ◇調査の概要

学校の評価	中学校全19校回答	
生徒アンケート	試行校（鵜沼、秋葉台、村岡、第一）	3年－132名回答
	17年度実施校（湘南台、藤ヶ岡、大庭、高浜、滝の沢）	3年－218名回答 2年－200名回答
保護者アンケート	17年度実施校（湘南台、藤ヶ岡、大庭、高浜、滝の沢）	132名回答
実施日	平成18年2月末	

### I. 学校の二学期制に対する評価について（中学校全19校）

#### 1 2学期制になって、工夫したこと、充実させたこと、新たに取り組んだこと等

○＝数の多かったもの

#### ア. 授業・学習について

##### ◇工夫したこと、充実させたこと、新たに取り組んだこと等

###### ○授業時数確保と授業の充実の推進

- ・夏季休業前・中など、生徒・保護者との教育相談体制や補習学習の充実
- ・長いスパンでの単元学習の充実や授業の連続性・継続性の確立

##### ◇成果・効果

###### ○授業時数確保による学習活動の充実や長いスパンでの単元学習が可能になる

- ・夏季休業中も生徒が課題意識を持って継続的に学習するようになる等学習の定着度が上がった
- ・学習方法や評価についての生徒・保護者との相互理解・信頼が深まる

#### イ. 行事について

##### ◇工夫したこと、充実させたこと、新たに取り組んだこと等

###### ○年間配置・授業と行事との関連等を吟味した

- ・長いスパンでの行事配置が可能になり、また行事への準備が充実
- ・学習成果発表を目的にした「学校公開」（授業参観）の新設

##### ◇成果・効果

###### ○行事への準備が充実

- ・生徒・保護者・地域の方々からの信頼が深まった
- ・夏季休業前の市総合体育大会に向けての活動の充実

#### ウ. 評価について

- ◇工夫したこと、充実させたこと、新たに取り組んだこと等
  - 長いスパンでの評価データによる評価の精度向上
  - 特に実技教科の目標準拠評価の充実
    - ・長期休業前に学習状況を提示するなど丁寧な評価情報を生徒・保護者に提供
    - ・定期テストに偏重しない評価機会の増設

#### ◇成果・効果

- 長いスパンでの評価データによる評価の精度向上
  - ・定期テストに偏重しない評価機会の充実
  - ・教科・教育相談等の準備にゆとりを持って臨めた
  - ・生徒の学習目標達成度が向上

#### エ. 教育相談・三者面談について

- ◇工夫したこと、充実させたこと、新たに取り組んだこと等
  - 学習と生活の面談を年間計画に増設・充実
    - ・長期休業前に学習状況を提示するなど丁寧な評価情報を生徒・保護者に提供
    - ・担任以外の教科担任による教育相談を新設

#### ◇成果・効果

- 結果を伝えるものから、経過を伝え、次の学習活動に結びつける相談・面談になり、学習意欲の向上や学習への課題意識が図られ、学力向上に
- 広範囲にわたった相談が可能に、継続的な相談体制等ふれあいの質が向上
  - ・生徒理解が深まる

#### オ. 部活動について

- ◇工夫したこと、充実させたこと、新たに取り組んだこと等
  - 夏季休業前の市総合体育大会（夏の大会）に向けての7月と12月、教員の過密スケジュールが緩和し、顧問が練習に参加しやすくなった
    - ・部活動優先日を新設

#### ◇成果・効果

- 夏季休業前の市総合体育大会（夏の大会）に向けての7月と12月、教員の過密スケジュールが緩和し、顧問が練習に参加しやすくなり、生徒とのふれあいの時間が増加し、活動が充実
  - ・部活動優先日を設けたことで、活動が活発に

#### カ. 長期休業中の取り組みや指導について

- ◇工夫したこと、充実させたこと、新たに取り組んだこと等
  - 夏・冬の休業中を利用して希望者に対し、学習相談を実施
  - 夏・冬の休業中を利用して希望者に対し、個別や小集団での補充学習・フォロー学習を実施
    - ・学びの連続性を確保した取り組みの実施や行事の準備等

#### ◇成果・効果

- 基礎基本の定着（学力向上）や学習意欲向上が図られる
  - ・学習評価や評価方法等について生徒・保護者の理解が高まる
  - ・夏季休業に対する意識変化が見られる（休養→フォローアップ）
  - ・作品の完成や学習目標の達成度が上がった

## キ. その他

◇工夫したこと、充実させたこと、新たに取り組んだこと等

- ・「総合的な学習の時間」学校カリキュラムの見直し
- ・地域との連携
- ・通知表が年2回になることから、評価情報を工夫して報告する場を増設
- ・生徒の理解度により合わせた学習進度に心がけた

◇成果・効果

- ・3年間の教育計画の見直しと職員間での共通理解が図られる
- ・地域と連携した学習の推進
- ・生徒が定期テストにこれまで以上に計画的に取り組んだ
- ・評価情報増設により、生徒が夏季休業中の学習の見直しを行ったり、次回に向けての目標を持てたり、進路選択に向けての資料となったり活用が図られた
- ・学力の定着や補充学習・発展学習等、生徒の実態に応じた学習が展開できた

## 2 三学期制時と比較した年間実施授業時数の増加時数 (1単位時間＝50分)

1 年	13.2	時数(単位時間)増
2 年	27.1	時数(単位時間)増
3 年	12.4	時数(単位時間)増

(市内19校平均)

## 3 2学期制を実施しての課題

○適切な行事等の配置

- ・学びの連続性を意識した長期休業中の生徒の学習の在り方
- ・指導方法の工夫改善と評価方法の精度向上
- ・フォロー学習や教育相談を利用する生徒の参加数や意識の向上
- ・学校づくりに向けた職員の意識改革
- ・評価情報の適切な発信の在り方
- ・教育相談・面談の内容・時期等の在り方

## Ⅱ. 生徒・保護者の2学期制に対するアンケート結果について

<生徒>

二学期制になってよかった点

調査項目		17年度からの実施校		試行校
		2年生	3年生	3年生
ア	学習や生活について、先生（教師）と話し合う機会が増えたと思う。	48.5%	47.3%	40.9%
イ	総合的な学習の時間や調べ学習などに、時間をかけて取り組むことができたと思う。	① 72.0%	② 54.1%	① 56.8%
ウ	行事にゆとりをもって取り組むことができたと思う。	③ 58.0%	④ 49.1%	③ 42.4%
エ	音楽、美術、技術・家庭科の教科（授業が週1時間程度の教科）で、評価の期間が長くなり、評価時期までに実技や作品が仕上がるようになったと思う。	② 65.5%	③ 51.4%	② 47.0%
オ	音楽、美術、技術・家庭科の教科（授業が週1時間程度の教科）で、評価の期間が長くなり、ていねいな評価がなされるようになったと思う。	52.0%	46.3%	38.6%
カ	夏休み前に学習についてのアドバイスが先生（教師）からあったので、夏休み中も計画的に学習に取り組むことができたと思う。	51.5%	47.3%	34.1%
キ	夏休みが終わってからテストがあるので、夏休み中も計画的に学習に取り組むことができたと思う。	④ 52.5%	① 57.3%	④ 41.7%
ク	夏休みを利用した学校でのフォロー学習や教育相談の機会が増えたと思う。	52.0%	42.7%	32.6%
ケ	夏休み前の市総合体育大会（夏の大会）に向けて、顧問の先生が練習をみたり、アドバイスしてくれる時間が増えたと思う。（運動部）	45.0% 入部率 (68.5%)	41.7% 入部率 (64.7%)	38.6% 入部率 (64.4%)
コ	文化祭、発表会、コンクールなどの前に、顧問の先生が練習をみたりアドバイスしてくれる時間が増えたと思う。（文化部）	21.5% 入部率 (23.0%)	27.1% 入部率 (27.1%)	18.9% 入部率 (27.3%)

- ・生徒については、学年に関わらずほぼ同様の意識を持っているが、試行校については、2年目に入っており、違いがわかりにくくなってきていると考えられる。
- ・総合的な学習の時間の定着で、課題にじっくり取り組める利点が生徒にも意識されている。
- ・特に実技教科について、長いスパンで作品や課題に取り組める利点が生徒からも指摘されている。
- ・入部率を考慮すると、部活動に教師が関わる時間が増えたと感じている生徒が多いと考えられる。

＜保護者＞  
 二学期制になってよかった点

調査項目		17年度から実施の3年生保護者	
		そう思う・ややそう思う	よくわからない
ア	学習や生活について、先生（教師）と話し合う機会が増えたと思う。	19.7%	65.2%
イ	総合的な学習の時間や調べ学習などに、時間をかけて取り組むことができたと思う。	② 41.7%	48.5%
ウ	行事にゆとりをもって取り組むことができたと思う。	③ 39.4%	43.2%
エ	音楽、美術、技術・家庭科の教科（授業が週1時間程度の教科）で、評価の期間が長くなり、評価時期までに実技や作品が仕上がるようになったと思う。	35.6%	47.7%
オ	音楽、美術、技術・家庭科の教科（授業が週1時間程度の教科）で、評価の期間が長くなり、ていねいな評価がなされるようになったと思う。	33.3%	50.0%
カ	夏休み前に学習についてのアドバイスが先生（教師）からあったので、夏休み中も計画的に学習に取り組むことができたと思う。	37.1%	43.9%
キ	夏休みが終わってからテストがあるので、夏休み中も計画的に学習に取り組むことができたと思う。	① 46.2%	38.6%
ク	夏休みを利用した学校でのフォロー学習や教育相談の機会が増えたと思う。	④ 38.6%	46.2%
ケ	夏休み前の市総合体育大会（夏の大会）に向けて、顧問の先生が練習をみたり、アドバイスしてくれる時間が増えたと思う。（運動部）	28.0% 入部率 (64.7%)	49.2%
コ	文化祭、発表会、コンクールなどの前に、顧問の先生が練習をみたりアドバイスしてくれる時間が増えたと思う。（文化部）	25.0% 入部率 (27.1%)	43.2%

- ・保護者については、学校生活に直接関わっていないために、「よくわからない」「実感がない」という回答が多く寄せられた。
- ・夏休み等長期休業の過ごし方については、三学期制よりも学習に計画的に取り組むことができたと感じている保護者がいる反面、夏休みゆっくりできないと感じている保護者もいる。

□まとめ

二学期制導入時のねらいであった「授業時間数の確保」や「ゆとりの中での充実した授業展開や行事への取り組み」、また、「夏休みを有効活用した学びの連続性や学習のフォロー」などについて、学校や生徒からは評価を得ている。

課題はいくつかあるものの、今後の努力や工夫により改善できるものとする。各学校が実態に合わせた教育課程の編成や工夫を図り、情報を交換する中で、より効果的な形で二学期制を生かし、取り組んでいけるよう支援していきたい。